

●緑色は別名

草花木実

<i>"</i>		
《目次》	1	
ヨウコウザクラ	2	
ヨウシュコナスビ	3	
ヨウシュヤマゴボウ	4	
義経駒繋ぎの桜	5	
ヨシノツツジ	6	
ヨツバシオガマ	7	
ヨツバハギ	8	
ヨツバヒヨドリ	9	
ヨツバムグラ	10	
ヨブスマソウ	11	
ヨモギ	12	

【花期 ——月】



2015.4.9上田城跡



ヨウコウザクラ

2015.4.9上田城跡

ヨウコウザクラ 陽光桜 〈バラ科サクラ属〉

アマギョシノとカンヒザクラの交配種。 花は淡紅紫色。 【上田城跡公園 の名札】

花撮影月	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
ヨウコウザクラ		0										



ヨウシュコナスビ

2016.6.5池田



茎 葉 2016.6.5池田

ヨウシュコナスビ 洋種小茄子 (サクラソウ科オカトラノオ属)

ヨーロッパ原産の常緑または半常緑の多年草。茎は分枝、匍匐、 節から根を出し、繁殖。高さ5~15cm。葉は対生、広い卵形、長 さ1~2cm、全縁。花は葉腋につく、花弁5個、<mark>径15~20mm</mark>、黄 色。果実はさく果、球形。[83][84][114]

■学名Lysimachia nummularia(リシマキア・ヌンムラリア)。【84】

■日当たりがよくないと花つきはよくない。そのかわり、黄緑色の葉を楽しむリシマキア・ヌンムラリア・オーレアを寄せ植えの葉物としてもよく用いる。【83】

花撮影月	4	5	7	8	9	10	12	1	2
ヨウシュコナスビ									

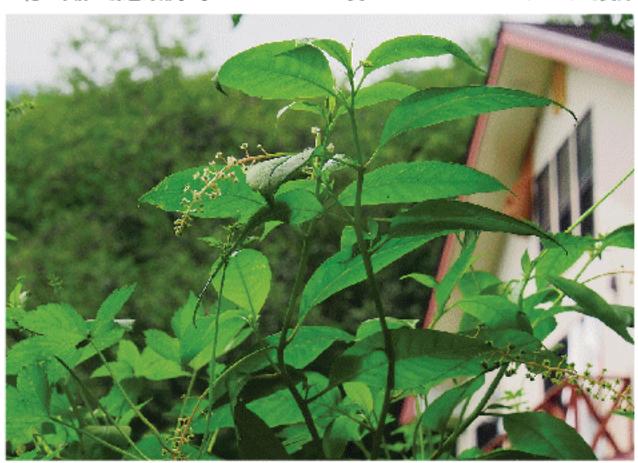
【花期 6~9月】







2014.10.25長野



ヨウシュヤマゴボウ 茎は高さ1.5m、太さ5cmにもなる[32]

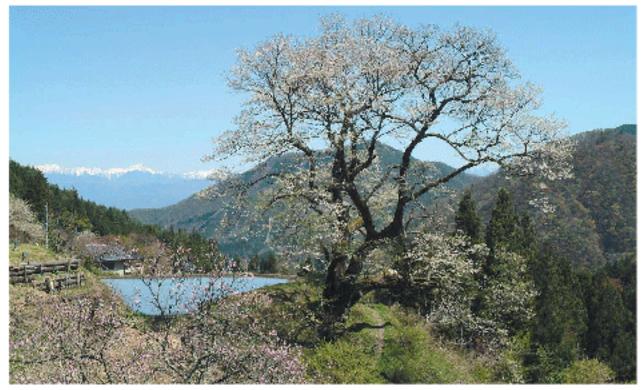
2014.8.28長野

ヨウシュヤマゴボウ 洋種山牛蒡 (ヤマゴボウ科ヤマゴボウ属)

北アメリカ原産。明治初期に渡来。観賞用に栽培され、野生化した多年草。茎はよく分枝、高さ1~2m、紅紫色に染まる。葉は互生、長柄、葉身は卵状長楕円形か長楕円状披針形、長さ10~30cm、花は白色、やや紅色を帯びる、径5mm、萼片5個、花弁はない、雄しべ10(~12)個、雌しべ1個、花柱10個。果序は下垂、果実は液果、径8mmほど、黒色に熟す。[3][18][25][32][42]

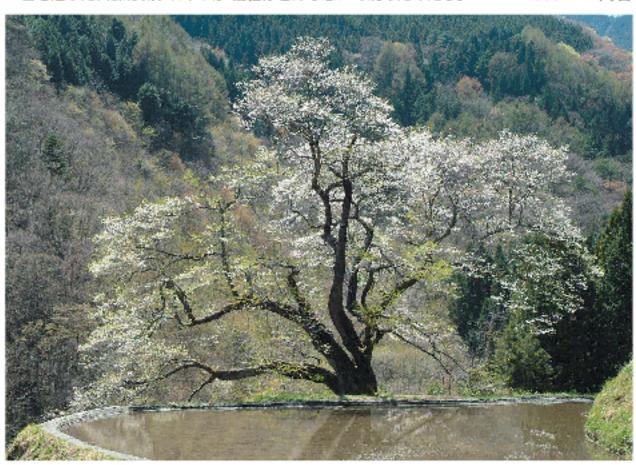
■別名アメリカヤマゴボウ。【18】■有毒植物。【60】

花撮影月	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
ヨウシュヤマゴボウ					M	α	(()	O				



雪を冠した山脈は南アルプス。義経はどんな思いで眺めたのだろ。

2005.4.27阿智



この田一枚だけ水が張ってあった。里びとの気持ちがうれしい。 2005.4.27阿智

義経駒繋ぎの桜 (バラ科サクラ属) 長野県阿智村園原

エドヒガン。目通り4m。高さ20m。伝説では吉次に導かれ奥州に 下向した源義経が、当地で愛馬を傍ら

下向した源義経が、当地で愛馬を傍らの桜の木に繋ぎひと休みした。桜は刻を経て大樹となり、星霜を刻んで朽ちでいったが、その根元から新芽が出、木となったのが、この桜だそうな。



●2004年10月の台風23号で大枝が折れる被害にあった。写真は翌春のけなげな姿。

花撮影月	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
義経駒繋ぎの桜		()									

【花期3~5月】半落葉低木







冬芽 2019.2.24上田城跡



ヨシノツツジ

2015.4.9上田城跡

ヨシノツツジ 吉野躑躅〈ツッジ科ツッジ属〉

シャクナゲとツツジの交配種。地植えでも<mark>篙さは1m程</mark>。驚くほど花つきがよい。<mark>花色はパープルビンク</mark>。[87][90]

■2002年フロリアード(園芸博覧会)で金賞受賞。【90】 ■和風庭園だけでなく、洋風庭園でもよく合う。【90】

	花撮影月	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
ヨシノツツジ			0										



ヨツバシオガマ

2005.8.29白馬・八方

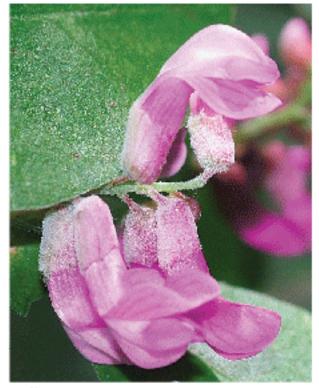
ヨツバシオガマ 四葉塩竈 (ハマウツボ科シオガマギク属)

高山や寒地の草原に生える多年草。茎は直立、高さ10~60cm。 葉は普通4個輪生、狭卵形~長楕円状披針形、長さ3~7.5cm、幅 1.5~3cm、羽状に深裂、裂片はふちに鋸歯、根生葉は長柄。花は 4個ずつ輪生し数層、花冠15~20mm、上部は2裂して唇形、上唇 の先端は細長い嘴状、下唇は幅広く3裂。雄しべ4個。果実はさく 果、歪んだ長楕円形。[3][18][35][42]

■名は、シオガマの仲間で、葉が4個ずつ輪生するので。[2]

花撮影月	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
ヨツバシオガマ					0(0	0 0						

【花期 6~10月】



花 総状花序に蝶形花を密につける[42]



托葉はやや大きく半切卵形[42]



ヨツバハギ 2007.8.20大町

ヨツバハギ 四葉萩〈マメ科ソラマメ属〉

前野に生える多年草。 茎は硬く、 置立または斜上、 高さ30~80cm。 葉は互生、 偶数羽状複葉、 小葉4~6個、 楕円形または長橋円形、長さ3~5cm、 葉軸の先は小さな突起または極く短いヒゲ。 花柄は長さ4~5cm。 蝶形花は長さ1cm余、 紅紫色または青紫色、 萼は筒状、 先は短く5裂、 裂片 三角状。 果実は豆果、 長さ3~4cm、 狭い長楕円形、種子は数個。[18][32][42]

■名は、通常4個の小葉をもつから。【18】

	花撮影月	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
ヨツバハギ							. (

【花期 7~9月】



花

2003.7.28白馬尻



花アップ

2003.8.13霧ヶ峰



葉 普通4輪生【42】 2003.7.28白馬尻



ヨツバヒヨドリ

2003.8.21上高地

ヨツバヒヨドリ 四葉鵯 〈キク科ヒヨドリバナ属〉

深山の林や草原に生える多年草。茎は数本東生、直立、分枝しな い。高さ70~100cm。葉は<mark>普通4輪生、まれに3輪生</mark>、若いと対生 することもある、短柄<mark>あるいは無柄</mark>、葉身は長さ10~15cm。散 房花序に<mark>管状花5個からなる頭花</mark>多数、頭花は径2mm、白色~淡 紅紫色。果実はそう果、長さ3mm。冠毛白色。[2][3][18][42]

- ■名は、葉が4輪生するヒヨドリバナ。【2】【18】
 ■本種は、基本種のヒヨドリバナより山奥に分布。両種とも雌しべの花柱は花冠よ り長く延びる。【25】

	花撮影月	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
ヨツバヒヨド!	J				0		III	0					

【花期 5~6月】



ヨツバムグラ 2015.6.14駒ヶ根



花 花冠淡黄緑色、径1~1.5cm、4深裂、雄しべ4個、花柱2個【32】【42】2019.8.14



花 実 2014.6.23伊那

ヨツバムグラ 四葉葎 (アカネ科ヤエムグラ属)

林のへりや草原に生える小型の多年草。茎は細い、四角柱。高さ 10~50cm。葉は4個輪生、卵状楕円形~卵円形、長さ6~15mm、 幅3~5mm、先は短く尖る、ふちと裏面に毛がある。枝先や葉腋 から花序を出し、数個の花を密に付ける、花冠は淡黄緑色、径1 ~1.5mm、先は4裂、雄しべ4個、花柱2個。果実は2分果、鉤状小 突起を密生。[18][32][42][64]

■名は、葉の付き方から。【18】

	花撮影月	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
ヨツバムグラ				-		30) (0						



ヨブスマソウ 葉は幅が広い[42]

2002.6.12清里

ヨブスマソウ 夜衾草〈キク科カニコウモリ属〉

山地の湿った草原や林内に生える多年草。高さ1~2.5m。茎の下部は無毛、上部は毛が密生。根生葉は花時には枯れる。茎葉は互生、茎の中部の葉は三角状鉾形、長さ25~40cm、幅30~40cm、葉柄は長さ9~13cm、翼があり、茎を抱く。頭花は円錐花序につく。管状花は6~9個、総苞片5~8個。[3][18][32][42][64]

■ヨブスマはコウモリのことで、葉形を広げた翼に見立てたもの。【18】 ■ヨブスマはムササビのことで、葉形をムササビが皮膜のついた足を広げた姿に見立てた。【18】 ■東北地方ではホンナ、ホナコ、ウドナなどと呼んで食用とする。【3】

	花撮影月	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
ヨブスマソウ													



ヨモギ 若葉 芽生え時は全体が灰白色の綿毛でおおわれる[42] 2003.4.3長野



頭花 種子 花序2003.9.14長野/頭花2003.9.27塩田平/種子2002.11.7長野

ヨモギ 艾・蓬 別名モチクサ〈キク科ヨモギ属〉

で殖える。茎はよく分枝、高さ50~ 100cm。葉は互生、羽状に中~深裂、裂片2~3対、上部の葉は小 形になり、製片も少ない、裏面は綿毛密生。頭花は長さ3mm、大 きな円錐花序に多数、管状花のみ、中心部は両性、周りは雌性、 ともに結実。果実はそう果、長さ1.5mm内外。[3][10][18][32][42]

- ■名は、「よく燃える草」の意味で、善燃草(よもぎ)だという。【21】
- ■若い葉は草餅に用いられ、香り高く、俗にモチクサと呼ばれる。【32】 ■葉を乾かして揉んで白い繊維を集め、お灸の《もぐさ》をつくる。【10】

	花撮影月	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
ヨモギ								0 0					